

コ メ ン ト 1

—— メディア知識人としての高取正男 ——

西 村 明*

高取正男をめぐる、ある記述から始めたい。

朝日新聞で京都女子大の高取正男さんの急逝を知る。昨3日の朝、腸閉塞のための死去という。五十四才。去年の正月は私とNHK、TVの対談で、のんきに門松の話などしていたのに。なんという早い死だろう。小学館の座談会で、みんなで二日間、わいわいとやったのも、ついこの間のようなのに。そして土竜会を発足させた……。

喪主は行（あゆむ）さんだという。直ちに弔電を打つ。「アイセキニタエナイ」と。

私だってこうなる可能性はいつでもある。惜しい学者をなくした！秋晴れだった空が、みるまに暗雲におおわれた。

これは、色川大吉の1981年1月4日（日）の日記である。『色川大吉人物論集 めぐりあったひとびと』（日本経済評論社、2013年）の「佐藤真と荒木博、それに高取正男——風のように消えてしまった友ら」という節に挙げられたものである（本文中の該当箇所では表現に加筆修正がなされていたため、掲載された日記の画像から文字を起こした。同書170頁）。

色川はこの日記の記述を取り上げた直前の箇所で、1978年1月13日のNHKテレビ「教養特集」で高取や川添登と座談をしたことに触れている。収録後の晚餐で16年続いた「教養特集」の廃止決定を知らされて、「わたしなど、どれほどこのNHK「教特」に出演の機会をあたえられ、各界各種の人に逢えたか計り知れない」と述べている（同書171頁）。

NHKオンラインの「NHK番組表ヒストリー」のページにおいて、1951年以降のテレビと1992年4月以降のラジオの番組表が検索できる。「高取 正男」で検索をすると、全部で59件ヒットし、再放送分を除くと、37本の番組に登場していることがうかがえる（色川の言う、

*にしむら あきら 東京大学大学院

1980年の正月の対談については、「高取」、「色川」のいずれで検索しても出てこない。3年前の「教養特集「大安吉日」——現代しきたり考——」の記憶違いであるのかもしれない)。これに、「故高取正男教授略年譜・著作目録」(『史窓』第39号故高取正男教授追弔号, 1982年, 京都女子大学史学会)記載のラジオや民放への出演を補うと、表の「高取正男出演番組一覧」のようになる。時期としては、1966年から1980年までの13年ほどであり、年によって出演の頻度が異なっているのは、番組の企画による偏差であろう。また、全国放送とローカル番組などの違いもあろうが、多い年(1972年・1976年)には10本の番組に出演しており、当時教養系番組の視聴者にとっておなじみの知識人と言っているほどのメディア露出がうかがえる。

1967年から68年にかけて橋本峰雄と出演した「宗教の時間」の内容は、直後に『宗教以前』としてNHKブックスから刊行されている。他方で、同じくNHKブックスから出された『仏教土着——その歴史と民俗』については、「日本民俗学の課題」というテーマで、1970年にNHKラジオのFM文化講座で放送したもの的一部分であるというが、上記のデータベースではその時期のラジオ番組がカバーされていないため、一覧には上がっていない。

色川が触れた「教養特集」については、高取も1967年以降たびたび登場している。ちょうど未来学研究会を立ち上げた頃の松本左京、川添登、加藤秀俊らをはじめ、岡本太郎、米山俊直、佐々木高明、奈良本辰也、水木しげる、野口武彦らと共演していた点も興味深い。その他にも「市民大学講座」「NHK文化シリーズ 生活の中の日本史」「女性手帳 女の習俗」といった場で民俗、民間信仰を語っていたようである。

高取のテレビやラジオへの出演については、同時代的な受容世代ではないため(私が生まれた頃から物心がつき始める頃のことであり、まず乳幼児が視聴しない類の番組である)、こうした社会への露出はテキストの理解だけからは見えてこない。高取をはじめ同時代に活躍した堀一郎、桜井徳太郎などの宗教民俗学・民間信仰の研究者たちが、こうしたメディア空間で発信した映像や語りについては、資料アクセスの制約もあり今後の課題となるだろう¹⁾。

注

- 1) NHKでは2010年より、番組アーカイブスの学術利用トライアルを開始し、学術的利用の目的から約65万本の過去の番組映像資料の研究者による活用を公募のかたちで試行している。ただし、資料の中心は、NHKが組織的に保存を開始した1981年以降のものであり、全ての番組があるわけではないという制約もある。

コメント1（西村）

高取正男出演番組一覧

	日時・時間	放送局	番組タイトル	備考（出演者など）
1	1966年7月1日（金）	NHK ラジオ	話の広場「梅雨明と雷」	
2	1967年5月21日（日）	NHKTV 教育	宗教の時間「死生観」—その伝統と課題—	橋本峰雄
3	1967年7月16日（日）	NHKTV 教育	宗教の時間「家と祖先」	橋本峰雄
4	1967年8月18日（金）	NHKTV 総合	明るい農村「新・産物風土記」 —塩—	佐藤磐根, 広山堯道, 浦野保
5	1967年9月2日（土）	NHKTV 教育	教養特集「木と日本人」	小松左京, 川添登, 鯖田豊之
6	1967年9月17日（日）	NHKTV 教育	宗教の時間「産土神の伝統」	橋本峰雄
7	1967年11月19日（日）	NHKTV 教育	宗教の時間「託宣」	橋本峰雄
8	1968年1月21日（日）	NHKTV 教育	宗教の時間「神仏の加護」	橋本峰雄
9	1968年2月18日（日）	NHKTV 教育	宗教の時間「忌みについて」	橋本峰雄
10	1968年3月17日（日）	NHKTV 教育	宗教の時間「日本人の宗教意識」	作田啓一, 橋本峰雄
11	1968年3月29日（金）	NHKTV 総合	明るい農村「新・産物風土記」 —杉—	
12	1968年4月17日（水）	NHKTV 教育	教養特集「文化とその時代」(1) —神・くに・古墳—	小林行雄, 岡本太郎, 今井清
13	1968年9月20日（金）	NHKTV 教育	教養特集「日本の神と仏」	橋本峰雄
14	1969年2月7日（金）	NHKFM	教養特集座談会「日本神話の特質」	多田道太郎, 村上重良
15	1969年2月20日（木）	NHK ラジオ	趣味の手帖	内容は不明
16	1969年5月21日（水）	NHKTV 教育	教養特集 日本人の探究 (2)「厄と災い」	加藤秀俊, 佐々木高明, 米山俊直
17	1969年6月12日（木）	NHKTV 教育	教養特集「盆踊り」	
18	1970年1月13日（火）	NHK ラジオ	趣味の手帖「カマドの神」	
19	1970年2月16日（月）・ 17日（火）・20日（金）・ 23日（月）・26日（木）	NHKFM	文化講座「日本民俗学の課題」	5回連続放送
20	1970年11月26日（木）	NHKFM	科学談話室「魔術から科学へ」	
21	1971年4月7日（火）	NHK ラジオ	新京都風土記「やすらい祭」	
22	1971年4月10日（土）	NHK ラジオ	新京都風土記「西行桜」	
23	1971年4月21日（火）	NHK ラジオ	新京都風土記「鞍馬花供養」	
24	1971年4月28日（火）	NHK ラジオ	新京都風土記「叡山花摘堂」	
25	1971年12月19日（日）	NHKTV 教育	宗教の時間「柳田 国男」	森竜吉, 上山春平
26	1972年1月12日（火）	NHK ラジオ	新京都風土記「小正月前後」	
27	1972年1月19日（火）	NHK ラジオ	新京都風土記「園部町半田のワードドン」	
28	1972年1月26日（火）	NHK ラジオ	新京都風土記「節分」	
29	1972年4月18日（火）	NHK ラジオ	趣味の手帖「昔の観光旅行」	
30	1972年4月24日（月）	NHK ラジオ	朝のロータリー「絵馬」	
31	1972年6月12日（月）	NHKTV	京都の話題「絵馬」	総合か教育かは不明
32	1972年12月4日（月）	NHKTV 教育	市民大学講座（Ⅰ）「日本人のすまい」（1） —すまいの変遷—	川上貢, 多田道太郎
33	1972年12月11日（月）	NHKTV 教育	市民大学講座（Ⅰ）「日本人のすまい」（2） —すまいと風土—	川上貢, 多田道太郎
34	1972年12月18日（月）	NHKTV 教育	市民大学講座（Ⅰ）「日本人のすまい」（3） —すまいの構成と美—	川上貢, 多田道太郎
35	1972年12月25日（月）	NHKTV 教育	市民大学講座（Ⅰ）「日本人のすまい」（4） —すまいと環境—	川上貢, 多田道太郎
36	1973年2月5日（月）	NHK ラジオ	趣味の手帖「昔の蒸発人間」	
37	1973年5月12日（土）	NHKTV 教育	教養特集 近世の発見「旅」	奈良本辰也, 小松左京
38	1973年5月18日（金）	毎日放送 TV	真珠の小箱「宿場町阿保」	
39	1973年10月13日（土）	NHKTV 教育	教養特集 近世の発見「新しき神々」	村上重良, 加藤秀俊
40	1973年12月3日（月）	NHKTV 教育	市民大学講座（Ⅰ）「日本人と祭祀」（1） —祭りと信仰—	桜井徳太郎
41	1973年12月10日（月）	NHKTV 教育	市民大学講座（Ⅰ）「日本人と祭祀」（2） —祭りと共同体—	桜井徳太郎

人 文 学 報

42	1973 年 12 月 14 日 (金)	毎日放送 TV	真珠の小箱「お伊勢まいり」	
43	1973 年 12 月 17 日 (月)	NHKT V 教育	市民大学講座 (I)「日本人と祭祀」(3) —ハレとケ—	桜井徳太郎
44	1974 年 2 月 8 日 (金)	朝日放送ラジオ	おはようパーソナリティ「神話・伊勢神宮に関して」	
45	1974 年 2 月 17 日 (日)	NHK ラジオ	宗教の時間「天神信仰」	
46	1974 年 8 月 24 日 (土)	朝日放送 TV	ワイドサタデー「あの世の寝室—地藏盆」	
47	1974 年 9 月 27 日 (金)	毎日放送 TV	真珠の小箱「水郷と多度」	
48	1974 年 11 月 9 日 (土)	朝日放送 TV	ワイドサタデー「島に生きる その 2」	
49	1975 年 2 月 24 日 (月)	京都放送ラジオ	アタックド 200 サテライトスタジオサロン「ヒナ祭り」	
50	1975 年 7 月 8 日 (火)	毎日放送 TV	真珠の小箱「朝熊山金剛証寺」	
51	1975 年 7 月 27 日 (日)	京都放送 TV	二百万人の話題「水」	
52	1975 年 10 月 7 日 (火)	読売放送 TV	リブインサタデー「風呂 —いまむかし—」	番組タイトルより、日付ミスの可能性
54	1975 年 10 月 22 日 (水)	NHKT V	けさの随想	総合か教育かは不明
53	1975 年 12 月 17 日 (水)	読売放送 TV	リブインサタデー「あなた門外漢？」	番組タイトルより、12 月 27 日 (土) の可能性
55	1976 年 2 月 19 日 (木)	NHKT V 教育	市民大学講座 (IV)「伊勢物語～愛と叙情の文学～」(10) —狩の使—	森野宗明、榎山文枝、塚本宏
56	1976 年 2 月 19 日 (木)	読売放送 TV	リブインサタデー「娘の幸せ・雛祭り」	羽仁進・桐島洋子
57	1976 年 2 月 19 日 (木)	朝日放送 TV	シリーズわが輩は日本人 (日本児童遊戯考「ジャンケンポンよアイコデショ!!」)	
58	1976 年 3 月 13 日 (土)	読売放送 TV	リブインサタデー「春・嫁入間近」	
59	1976 年 3 月 14 日 (日)	NHKT V 教育	教養特集「質屋」—庶民金融の系譜—	斉藤博、作道洋太郎、徳田憲一、藤本義一
60	1976 年 5 月 22 日 (土)	朝日放送 TV	ワイドショープラス α 「なんでやねん」⑤	
61	1976 年 10 月 4 日 (月)	NHKT V 教育	NHK 文化シリーズ 生活の中の日本史「近世食事物語」(1) —食器は語る—	芳井敬郎
62	1976 年 11 月 1 日 (月)	NHKT V 教育	NHK 文化シリーズ 生活の中の日本史「現世ご利益」(1) —知恵の神—	吉井八重子、木村泰夫、田中裕子
63	1976 年 11 月 14 日 (日)	毎日放送 TV	真珠の小箱「神さまの衣裳」	
64	1976 年 11 月 15 日 (月)	NHKT V 教育	NHK 文化シリーズ 生活の中の日本史「現世ご利益」(3) —お地藏さん—	大井房、田中裕子
65	1977 年 7 月 14 日 (木)	NHKT V 教育	教養特集「日本の妖怪」	水木しげる、野口武彦、米山俊直
66	1977 年 7 月 29 日 (金)	朝日放送 TV	ワイドショープラス α 「夏のアングル」⑤「日本の夏の粋—その透ける涼しさの演出」	
67	1977 年 11 月 14 日 (月)	NHKT V 教育	NHK 文化シリーズ 生活の中の日本史「和紙礼賛」(2) —儀式を飾る紙—	寿岳章子、田中裕子
68	1978 年 1 月 5・6 日 (木・金)	NHK 国際ラジオ	「正月と酒」	2 回連続放送
69	1978 年 1 月 13 日 (金)	NHKT V 教育	教養特集「大安吉日」—現代しきたり考—	色川大吉、川添登、加賀美幸子
70	1978 年 8 月 22 日 (火)	京都放送 TV	京都市広報課企画「おぼん」	
71	1979 年 2 月 24 日 (土)	毎日放送 TV	真珠の小箱 ロケ 志摩庫蔵寺	
72	1979 年 4 月 23 日 (月)	NHKT V 総合	女性手帳「女の習俗」(1) —安産の祈り—	向後英紀、安藤恵
73	1979 年 4 月 24 日 (火)	NHKT V 総合	女性手帳「女の習俗」(2) —女人往生—	向後英紀、安藤恵
74	1979 年 4 月 25 日 (水)	NHKT V 総合	女性手帳「女の習俗」(3) —女墓・女紋—	向後英紀、安藤恵
75	1979 年 4 月 26 日 (木)	NHKT V 総合	女性手帳「女の習俗」(4) —一家の刀自—	向後英紀、安藤恵
76	1979 年 4 月 27 日 (金)	NHKT V 総合	女性手帳「女の習俗」(5) —女のたましい—	向後英紀、安藤恵
77	1980 年 6 月 3 日 (火)	NHKT V 総合	ジュニア・文化シリーズ 自然のなぞ「弘法大師のつえ」	武田明正、吉川精一、西村幸子